

令和2年度第2回高知県歯と口の健康づくり推進協議会 議事要旨

1 【日時】 令和3年3月23日（火）19時00分～20時30分

2 【場所】 高知県歯科医師会館 会議室1.2

3 【出席者】 協議会委員出席15名、欠席4名、事務局6名、
障害福祉課1名、福祉保健所4名

4 協議事項

- (1) 第2期高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく令和2年度の取り組み実績について
- (2) 第2期高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく令和3年度の取り組み予定について

5 議事の経過の概要

会長の議事進行により、各議題について事務局の説明を受け、協議が行われた。

議題

(1) 第2期高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく令和2年度の取り組み実績について

- ・委員から、フッ化物洗口を実施することで先生方にどのくらい負担があるのか、成人になった時の効果についての質問があり、事務局から導入する際に先生方に実施手順を指導し、慣れてくると5分程度で実施できること、各校で実施しやすい時間帯に取り入れている旨を説明した。また、子どもの時に実施したフッ化物洗口の効果は成人になっても継続するエビデンスがあることを説明した。
- ・委員から、高知市では少しずつ実施施設が増えており、新たに公立校1校が実施に向けて準備中であり来年の4月から開始予定であるとの報告があった。実施校においてもPTAの説明や学校との調整等始まるまでに4年ぐらいかかったとの発言があった。
- ・委員から、東洋町で妊婦歯科健診を実施していない理由について質問があり、事務局から、生活圏が徳島であること、妊婦の数が少なく費用対効果を検討した結果であることを説明した。
- ・委員から、フッ化物洗口のおかげでむし歯が激減したと実感しているが、むし歯にならないことでブラッシングが十分にできておらず、歯肉炎の子どもが増えてきているとも聞く、県でフッ化物洗口と歯肉炎の関連についてデータを把握していれば教えて欲しいと質問があり、事務局から把握できていないので2年ごとの高知県学校歯科保健調査のデータを活用し、次回ご説明すると回答した。
- ・委員から、現在放送中の歯周病CMの効果測定をどのように行うのか質問があり、事務

局から前知事の CM では、県歯科医師会でレセプト件数を確認していただき CM 放送月は件数が増えたことが確認できた。県で確認できるのは、国保と後期高齢者のレセプト件数に限られるが効果を見ていきたい。次回の会議でご報告すると回答した。

- ・委員から、CM の効果は今回も期待しているがコロナの影響で受診者数の減少が直近値でもプラスに転じてはならず前年同月との比較は難しいかもしれないとの発言があった。
- ・委員から、同行訪問歯科研修について、厚労省の好事例に選ばれており、現在 3 年目で今後 5 年計画で実施を検討していると報告があった。
- ・委員から、障害者の全身麻酔での歯科治療の開始時期についての質問と大学では通常 1 泊 2 日で治療を行っているが口腔保健センターでは、日帰りなので患者の負担が少ない。大学からの紹介は可能か質問があった。委員から令和 3 年度は、秋頃に事業実施が決定し、その後改修するため実際の稼働は令和 4 年度になる見込みであること、センターですぐには重度心身障害者の対応はできないので紹介を受けることは難しいと発言があった。
- ・委員から、奨学金について、どの業種も人材不足でどのように確保していくかが課題になっていることから、10～20 年後をどのように見据えているか質問があった。委員から、県内唯一の歯科衛生士養成校である高知学園短期大学の入学者が H29 は 28 名しかいなかったが、奨学金ができたことで入学者は増え、R3 は 37 名、歯科衛生士の賃金アップや福利厚生見直しの取り組みを行ってきたことについて発言があった。
- ・委員から、地域ケア会議に積極的に歯科衛生士が参加するようになってきているが、口腔内のアセスメントができていないことが多く、歯科衛生士会として参考になるようなアセスメント票を提示していく必要があると感じていると発言があった。
- ・委員から、各福祉保健所で開催している歯科保健地域連絡会においても条例に基づき設置されている会であることを関係者に知ってもらい、本協議会で議論されている内容を共有することが重要と考えている。また、安芸では、障害者の就労支援事業所での歯科指導の要望があり、取り組みを進めていくことの発言があった。
- ・オブザーバーから、フッ化物洗口について新型コロナウイルス感染症の影響で全国的に休止している施設があるが、文部科学省において新しい生活様式について示され、今後は徐々に再開されていく見込みであるとの報告があった。また、学校現場においては、フッ化物洗口を通じて健康教育を行い、ヘルスリテラシーに繋げていくとよりよいとのアドバイスがあった。

(2) 第 2 期高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく令和 3 年度の取り組み予定 について

- ・委員から、糖尿病と歯周病との関連性は既にエビデンスが出ているので、今後は医科と歯科のレセプト突合が必要になる。依頼をすれば国保連合会で実施してもらえるか

質問があり、委員から医科は電子化が進んでいるので糖尿病の疾病を抽出することは可能だが、歯科は電子化率（医科と比較したオンライン請求の率）がまだ低く、全件でのデータ突合は難しいと思うが、一部（電子データ化されたレセプト）であれば抽出できると発言があった。

以上をもって、20時30分に閉会した。